



April 25.2011

No.107

かんだ

Kanda

議会だより

3月
定例会

平成23年度予算

総額142億円徹底検証	2~3
議員の定数削減	6
外国仕組み債運用問題	7
委員会報告	4~10
ズバリ町政を問う(12人が質問)	11~23
はばたけ!! かんだっ子	24

がんばろう日本!

この度の「東日本大震災」におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

松山城から望む荻田港の日の出

取りくずし

平成23年
3月定例議会

2億9,000万円 を予算決定

平成23年度予算可決

3月1日から22日まで開催 会期22日間
3月定例会は、平成23年度予算・条例などについて審議した結果、議案28件が可決、1件は継続審査、請願1件は不採択、発議3件は可決、決議1件は可決、意見書案2件が否決された。



地域防災計画策定委託料

1,344万円

収入が減って預金を

4億3,000万円

14

おろして

JR玉川架道橋新設工事

5億1,400万円

苅田中・南原小学校トイレ改修工事

8,400万円



予算特別委員会報告



予算特別委員長

富安 正直

刈田町一般会計予算

議会費

Q 議会のネット中継などによる公開のための予算をつけるべきでは。

A 議会において発信の方法などを具体的に議論した後に、予算の要求があれば応じたい。

総務費

Q 研修について議員と職員が一緒に行けるように予算の配慮を。

A 議運などで協議をする。

Q 運行委託料について、増額の理由は。

A コミュニティバスの路線の延長による運行時間の増加。

Q 増額の理由があいまいなので、根拠を。決定の前

所管の委員会に報告すべきでは。

A そのように取り計らう。

Q 乗り継ぎ券の取り扱いについて、不正な使用を予防する措置をとるべきである。

民生費

Q 特別措置法の期限切れで同和対策に限らない幅広い事業に対応する人選が必要だ。

Q パンジープラザでシロアリ被害や塩害など大変深刻な傷みが出ているので、早急に対応すべき。

衛生費

Q 各種予防接種に対する国の補助が切れる来年以降の対応について、町独自の補助制度に対する広報を十分



パンジープラザ

すべきだ。

Q R D F 処理の経費が年々増えることなどが予想される、エコプラントを中心にした対応から、ごみゼロ運動などへのごみ処理行政の根本的な見直しを求める。

労働費

Q それぞれの事業で支払われる賃金に対応する具体的業務や就労内容が未定のま

までは、町民の皆さんの批判に耐えられない。

A 4月1日からの採用は見送り、関係各方面と打ち合わせた上、委員会に報告した後、採用する。

農林水産業費

Q 地産地消をもっと進めろべき。

商工費

Q トイレ清掃委託料及び刈田駅前スペース開閉委託

料について、それぞれの事業が委託するほどの業務ではないのでは。

A 駅周辺の委託事業については統合する。

消防費

Q 耐震対策をしっかりとすべき。

教育費

Q スクールソーシャルワーカーは有能な方なので、正規で採用しては。

Q 町雇用の常勤講師の応募が少ないので、待遇の改善を図るべきである。

Q 町民プールの駐車場用地の購入費だが、エル刈田の駐車場を利用する交渉を先にすべきでは。

A 先にそちらを当てる。

刈田町一般会計は、賛成多数で原案のとおり可決いたしました。





賛成多数で可決。

苅田町水道事業会計予算

賛成多数で可決。

苅田町下水道事業会計予算

全会一致で可決。

京都郡公平委員会特別会計

全会一致で可決。

苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計予算

賛成多数で可決。

苅田町住宅新築資金等特別会計予算

全会一致で可決。

苅田町土地地区画整理事業特別会計予算

賛成多数で可決。

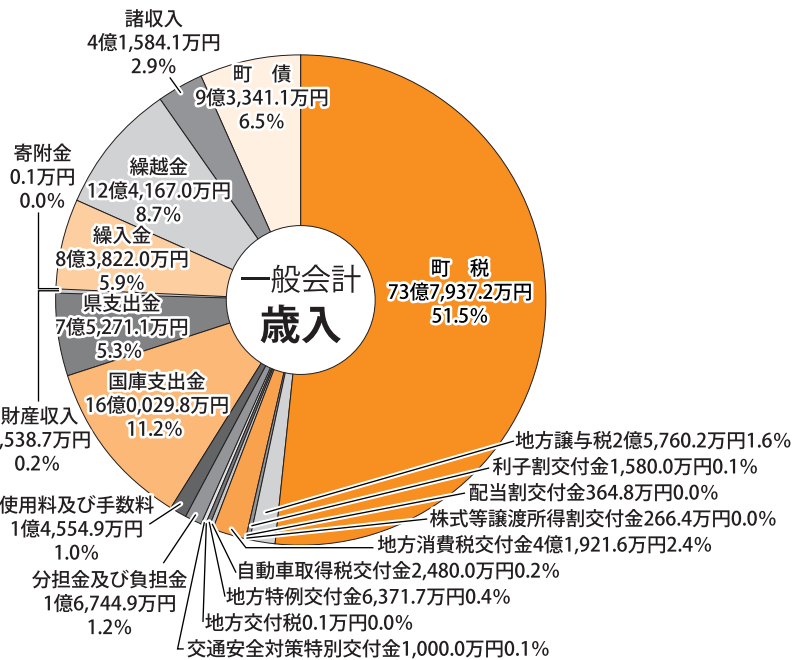
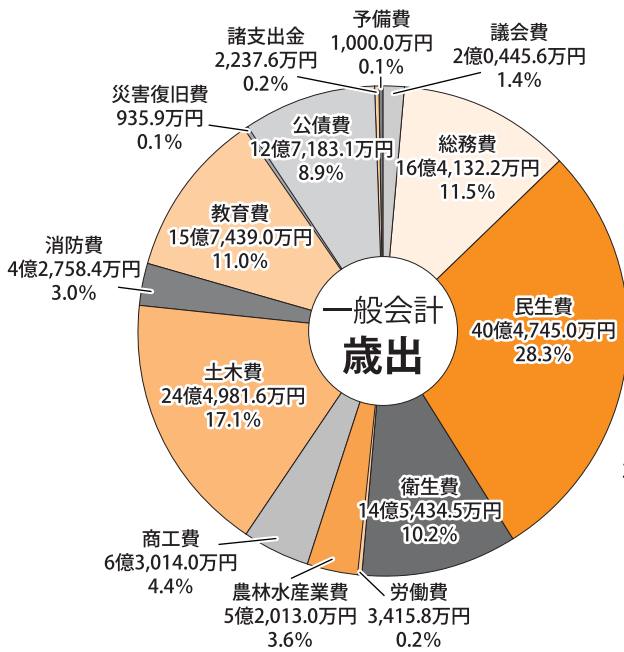
苅田町介護保険特別会計予算

賛成多数で可決。

苅田町後期高齢者医療特別会計予算

賛成多数で可決。

苅田町国民健康保険特別会計予算



一般会計 **142億9,736万円**
 特別会計 **66億8,993万円**
 合計 **209億8,729万円**
 町民1人当たり
 に使われるお金 **585,714円**
 人口 **35,832人**
 (平成23年3月末日現在の人口)



議会 改革

議員定数削減

次回の選挙から **18名が16名に**

グローバル化された世界経済の立ち直りの遅れから、我が国においても失われた20年と言われるほど経済が疲弊しており、本町においても長引く不況のあおりから、平成23年度の税収も少なからずその影響を受けるものと思われま

削減理由

す。このような状況の中、議会の活動の財源は「税金」であるということを再認識し、本町議会としても地方自治の基本理念に立ち返り、議会自らが改革に着手し範を示すことが、今、町民の負託にこたえることであり、将来に対する議会の責任であると確信し、議員定数の削減を行うものであります。

反対 討論

議員は減らしたほうがよいと考えておられる方は、無駄をなくしてほしいという当然の思いからだと思ひます。税金の無駄遣いをなくすことに全力を尽くすという点では、同じです。

地方自治体は2元代表制で、執行権を持っている強い執行部に対し、議会はチェック機能しか持たないと言っても過言ではなく、力の差を感じます。

けれども、住民の命と暮らしを守らない予算や条例について否決する議決権はあります。住民の意見や要望を聞き行政に反映させる議会の役割は非常に重要であり、定数を削減することに反対します。

発議

発議第1号

苅田町議会議員の

定数に関する条例の一部を

改正する条例の制定について…可決

発議第2号

苅田町議会委員会条例の一部を

改正する条例の制定について…可決

発議第3号

苅田町議会の議員の

議員報酬及び費用弁償等に

関する条例の一部を改正する

条例の制定について…可決

継続審査

議案第15号

苅田町奨学資金貸付条例の一部を

改正する条例の制定について



外国仕組み債運用問題！

基金運用調査特別委員会

決 議

決議第1号

苅田町財政調整基金及び苅田町清掃施設建設基金における

外国仕組み債による運用に対する決議……………可 決

現在、苅田町の財政調整基金より15億円、苅田町清掃施設建設基金より2億円、合計17億円の公金が、6件の外国仕組み債によって運用されている。この金融商品の性質上、現状の為替レートでは非常に流動性が低く、それぞれの債権の購入から最長30年間にわたり他の方法での運用や活用が事実上不可能な状態が続く恐れがあり、現状では上記の各基金がもつ役割を十分果たすことが出来ない。この現状をふまえ、苅田町議会は苅田町長に対し以下を求める。

記

- 1 苅田町の公金17億円が外国仕組み債によって高リスクな運用がされている現状が不適切な状態であることを認識したうえで、現状の改善を速やかに図ること。
- 2 外国仕組み債購入を決める前に、公金連絡会議などで十分な議論や研究がなされていなかったことに対する責任の明確化と反省を踏まえた対策を取ること。
- 3 この外国仕組み債のうち、特に平成19年8月に購入した2件、計10億円分の債権については当時の苅田町債券運用指針に明確に違反しており、また町長もそのことを認識していたにもかかわらず購入が強行されたものであり、その責任の明確化と反省を踏まえた対策を取ること。
- 4 現在、苅田町の基金運用は仕組み上、議会の監視が届かない。公金の運用は透明性の確保が重要であるとの観点から、議会の監視が十分およぶよう改めること。

以上決議する。

平成23年3月22日 福岡県苅田町議会

賛成討論

税金を納めた人たちに活きた使い方、また、この納めた人たちが生きている間に本当に有意義に使っていただきたいと、いつも発言をしてまいりました。もちろん将来に向けての計画も大切ですが、今回のこの外国仕組み債の運用は町政にとって問題を残しました。解約することで目減りするという損失も生まれるなど、非常に慎重さが求められる微妙な問題でした。

しかし、今後の町政に活かすために、今回この特別委員会を開かれたこと、また、この中で話し合われたこと、今後に期待して賛成とさせていただきます。

総務常任委員会報告



総務常任委員長

坂本東二郎

委員会に付託された議案
4件は、慎重審議の結果、
全議案を可決した。

今後審査を行い、議決が必
要か否かを含め、さらに委
員会として議論を深めてい
くということを確認した。

- 苅田町予防接種健康被害
調査委員会条例及び苅田
町障害者施策推進協議会
設置条例の一部を改正す
る条例の制定について
- 苅田町職員の育児休業等
に関する条例の一部を改
正する条例について
- 第4次苅田町総合計画基
本構想について

Q 基本構想のみ議決である
が、前期、後期基本計画や
実施計画について議決がで
きないか。

A 基本構想段階の審議会に
おいて、議会より選出の委
員に議論をしてもらっている。



- 平成22年度苅田町一般会
計補正予算（第9号）に
ついて
- 総務費

Q 電子計算費について備品
購入費の内容について。

A 新人職員のパソコン購入。

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長

三原 茂

委員会に付託された議案
8件は、慎重審議の結果、
全議案を可決した。

Q 草刈り委託料で、減額理
由は。

A 嘱託職員で行ったため。

- 苅田町公共下水道条例の
一部を改正する条例の制
定について
- 苅田町有水面及び道路の
占用条例の一部を改正す
る条例の制定について
- 町道路線の認定について

Q J R工事委託料
3,900万円減
額理由は。

A 本体の推進工事
がスムーズに施行
できたため。

Q 議決後すぐに町道として
認定されるのか。

A 認定される。

Q 県道だった部分をなせ町
道として認定するのか。

A 県道との交換である。

- 平成22年度苅田町一般会
計補正予算（第9号）に
ついて
- 土木費

Q 1年を通じ草刈
り等を含めた全体
管理をしている。

A 平成22年度苅田
町土地区画整理
事業特別会計補
正予算（第3号）
について



建設が進む二崎浄水場

- 平成22年度苅田町苅田臨
空産業団地開発事業特別
会計補正予算（第1号）
について
- 平成22年度苅田町下水道
事業会計補正予算（第4号）
について
- 平成22年度苅田町水道事
業会計補正予算（第4号）
について



厚生文教常任委員会報告



厚生文教常任委員長

友田 敬而

委員会に付託された請願第1号は不採択、議案7件については可決、議案1件については継続審査。

継続奨学生において、4月、5月分の貸付交付金が5月にまとめて支払われる理由は。

●国民健康保険税の引き下げ等を求める請願について

Q 国保税引き下げを行った場合の町財政への影響について

A 年間5,068万円の減収になる。

Q 引き下げにより収納率の見直しについて。

A 収納に対する影響は少ない。

●荻田町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について

Q 成績証明書提出の理由・

A 成績証明書提出の理由・

Q 景気動向の悪化により就職浪人がふえている。留年は認めるべきでは。

A 条例は正規在学期間に限

るため、認められない。就職浪人による留年は個別事案として対応していく。

Q 成績優秀者への奨学金返還免除等を考慮するならば

まだしも、成績証明書の提出は根拠を欠いている。未来を託す子供たちにとって、借りやすく就学を行う上でよりよい制度になっているとは言いがたい。

経済的理由による就学困難なものに対し、学資を貸し付け、有為な人材を育成することを目的とするとは

かけ離れた改正になっている。世帯主もしくは生計を別とする連帯保証人をどちらか1人必要であったが、改正において、世帯主と連帯保証人2人が必要となり、経済的理由による就学困難者への奨学金貸付を事実上閉ざしている。

●指定管理者の指定について

(荻田町民温水プール)について

Q 選考結果を開示できないのか。

A 業者名を伏せた資料ならば提供できる。

Q 管理者の指名を、地元でなく町外とした理由は。

A 管理運営をすぐれた業者に委託するために、県内より広く公募を行い、プロポーザル方式において選考を行った結果である。



町民温水プール (完成予想図)

Q 総合福祉会館改修工事について、減額修正だが、空調機騒音問題になぜ対処していないのか。

A 空調機の室外機の騒音問題は、工事完了後に住民から指摘された。23年度当初に対応したい。

Q 原因は。

A 室外機の不調による騒音ではなく、機械音である。防音壁を設置して対処したい。

Q 放課後児童対策事業委託料について、減額の要因は。

A 障害児の加算措置を行っていたが、受け入れがなかったため。

●衛生費

Q 子宮頸がんワクチン接種事業委託料について、減額幅が大きい。

A 14.9%が接種している。見込みでは対象者の80%が接種すると考えられていた。広く啓蒙することが大切と考えられているので、接種率が向上するように対応、対策をしていきたい。

●平成22年度荻田町一般会計補正予算(第6号)について
民生費



●平成22年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について

○ 治療給付費負担金について、なぜ1億5,119万円の大幅な減額か。

○ 予算時には、国が定める部分において不確定な部分が多く年度末での大幅な修正になった。

●平成22年度苅田町老人保健特別会計補正予算(第3号)について

●平成22年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について

●平成22年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第5号)について

○ 地域支援事業繰入金(包括支援事業・任意事業)について、この事業は一般会計の繰入金と介護保険特別会計か。

○ 介護保険特別会計で負担割合は、国が25%、県・町が12.5%、基金30%である。

●専決処分について(平成22年度苅田町一般会計補正予

算(第8号)について

第一回定例会

意見書

意見書案第1号

国民健康保険の広域化に対し、

国庫負担の復元を求める

意見書(案)……………否決

意見書案第2号

消費者行政の拡充と相談員の

処遇改善など国の取り組みを望む

意見書(案)……………否決

請願

請願第1号

国民健康保険税の

引き下げ等を求める

請願について……………不採択

人事案件

固定資産評価審査委員会委員に

上坂 信一郎氏

を選任することに同意。

東日本大震災の被災地へ

苅田町議会が20万円の義援金

産業建設常任委員会が名取市に6万円の支援金

皆さん議会傍聴に来てください



6月定例会の予定

6月3日(金)から

一般質問は6月13日(月)・14日(火)・15日(水)

《開催時間》10時～17時 受付は庁舎6階まで

問い合わせは議会事務局 093-434-1981

3月議会は
97人の
傍聴者が
ありました



三原 茂 議員	12
1. これからのまちづくりについて	
木原 洋征 議員	13
1. 新年度予算でのちと暮らしが守られるのか	
2. 子どもたちの教育を守るために	
3. TPPへの参加で町はどうなる	
4. 非正規職員の雇用改善を	
友田 敬而 議員	14
1. 町の未来に責任をどう持つのか	
財政調整基金取り崩しの緊急事態への対処は	
2. 町民スポーツ振興への取り組み、夜間運動場の設置を望む	
3. 町民の大きな願い、菟田駅前安全確保へ町はどう動いたのか	
松蔭日出美 議員	15
1. 合併後50年をすぎ、白川地域に何ができたか	
2. 教育問題について教育長に聞く	
榎谷 忠明 議員	16
1. 観光について	
2. 小波瀬西工大前駅周辺整備事業について	
富安 正直 議員	17
1. 日本の未来と菟田町政の今後	
2. 温水プール指定管理者候補者選定について	
白石 学 議員	18
1. 財政運営について	
2. 協働と自立のまちづくりについて	
山口 純治 議員	19
1. 菟田らしい菟田町行政の基本姿勢について	
梶原 弘子 議員	20
1. 平成23年度予算編成について	
2. 外国債購入の経緯を町民へ説明すべきでは	
3. 同和行政について	
小山 信美 議員	21
1. 障がい者を取り巻く現状と課題	
2. 豪雨災害に対する危機管理	
3. 健康長寿社会を目指して	
4. 健康教育問題について	
常廣 直行 議員	22
1. 与区画整理事業の円滑な推進	
2. 危機管理耐震対策	
3. 小波瀬西工大前駅とその周辺の再開発	
伊塚 弘 議員	23
1. 第4次菟田町総合計画を問う	

ページの都合で全てが掲載されておりません。(掲載は登壇順)

詳しくは議会HPの議事録をご覧ください。 <http://www.town.kanda.lg.jp/gikai/gikai.htm>



Q

TPPについての 町長の所見は

A

必要な措置と十分な説明を期待している



無党派 三原 茂 議員

企業誘致について

- Q** 企業誘致を実行するうえで一番重要なポイントは。
- A** 交通網の整備と働く皆様が安心して暮らせる環境が必要である。
- Q** 一番大事なのは、受け入れ自治体の姿勢や、熱意であり、やる気だと思いが町はやる気があるのか。
- A** できる対策はやっていきたい。
- Q** 三菱航空株式会社のMRJについてどのように誘致に取り組んでいくのか。
- A** 航空機産業振興会議というのが組織されており審議会の中で努力していく。
- Q** 本町の企業誘致に対する体制ができていない。先日

三菱航空の名古屋工場に視察にいき多くの事を学んできた。行ったからこそわかる事がたくさんあるが、今現在一番大事な情報収集・分析が出来ていないと思うが。

A 行かなければ学べない事もあるが、旅費等も削減するという意味でもITを利用した様々な手法で情報収集していきたい。

Q 既に北九州市は、いち早く視察にきていた。それ以外にも日本全国から数多くの地域より話が来ている。他の自治体は情報を聞きすでに行動を起こしている。旅費がもつたないからとか協議会にまかせるのでもいいかもしれないが、他の自治体は必死に誘致しようと考えて汗をかいている。この事に関して町長の見解は。

A 独自の活動を含めて取り組んでいきたい。



※MRJ 三菱小型ジェット旅客機

農業公社の設立について

- Q** 農業公社の設立と事業の内容は。
- A** 多様な担い手で支える営農体制の構築を実施するため公社を設立する。米・麦・野菜の作付を行い平成25年度10haから始め平成33年度には100haを目指していく。
- Q** 多くの時間とコストをかけるより営農世帯に対し町独自に所得保障をしたり、

農産物自体に補助をした方がより効果的だと思うが。

A 自立した形に持っていくたい。

Q 平成24年に出資金2,000万円、平成26年〜平成30年までに毎年300万円の補助金、平成27年に直売所の建設費3,200万円等事業費はいくらかかるのか。

A 農業公社の設立と直売所まで含めたところで1億5,000万円位かかる。





日本共産党
木原 洋征 議員

医療費の減免制度 導入を速やかに 早い時期に運用したい

Q 国保法44条、窓口での一部負担金の減免制度の導入がなぜ遅れているのか。

A 京築で協議したが、まともならず、本町独自も含め、早い時期に運用したい。

Q 放課後子どもひろばの週3日、短時間は近い将来拡充するのか。

A 運営が安定化すれば、高

学年の時間延長や毎日化を検討したい。国が学童保育と子ども広場を平成25年統合を計画しており、本町でも考えたい。

子どもたちの教育を守るために

Q 去年の猛暑は、授業を受ける環境ではなく、エアコ

ンが必要では。

A グリーンカーテンや扇風機などの活用でも、子どもが耐えがたければ、新たな対応を考えたい。

Q 中学校の荒れを防ぐには、

小学校の低学年からの対応が必要。授業に集中できない子どもたちには、スクーリングで家庭を含めた指導の活用が必要では。

A 小学校においては全国平均を上回る学力と授業に集中できない子どもたちがいることも事実です。

個々に応じたきめ細かな指導を行い、基礎学力の向上に努めたい。

TPPへの参加で町はどうなる

Q TPPに参加すれば、農産物の輸入自由化で、日本の農業が壊滅し、食糧確保と農地の保全ができなくなるのでは。

A 農業関連のGDPが41兆円減少し、340万人の雇用が喪失される試算もあり、国内農業に大きな打撃を及ぼす懸念がある。

Q 関税と規制の撤廃で、低賃金で働く労働者が流入すれば、日本の若者の労働環境は非常に悪くなるのでは。

A 海外からの人の移動については、23年の6月に取りまとめるようだが、慎重な議論をしていただきたい。

非正規職員の雇用改善を

Q 総務省の通知、「任期の終了後、再度同一の職務内容の職に任用されること自体は排除されるものではない」また、「3年から5年後の雇用後であっても、能

力の実証ができなければ再度の任用は否定できない」は間違いないか。

A 5年程度経過し、職員については、「再度の能力実証を行ったうえであれば妨げるものではない」というのが総務省の考え方。

Q 嘱託職員は専門職であり、雇用を継続してほしい。

A 精査し、考慮していく。

※TPP

環太平洋戦略的経済連携協定

貿易自由化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめとする、加盟国間で取引される全品目について関税を原則的に100%撤廃しようというもの。2015年をめどに関税全廃を実現するべく協議が行われている。



Q

財政のターニング ポイントでは

A

来年度は大幅見直しを行う



清明会
友田 敬而 議員

駅前安全確保

Q 12月に質問した荻田交番移転の件、その後の進展は。

A 数回、行橋署に向き協議を行った。新しい警察署長にも交番移転の件は話している。今後とも継続して協議する。

Q 交番移転までの道のりは長い。その間の対策として、防犯カメラの設置は検討できないか。

A 警察へ防犯パトロールの強化はお願いしている。カメラ設置による効果を検証しながら今後検討したい。

夜間運動場設置

Q 近年、大変優秀なスポーツ選手を輩出している本町。

その影には熱心な指導者の存在がある。ボランティア指導者を側面から支援する考えはないか。

A 熱心なボランティア指導者には敬意を表する。様々な設備等は協力したい。しかし、地域住民との調整が難しい。

Q 町民スポーツ振興への支援として、夜間運動場の設置は検討できないか。

A 夜間運動場の新設は難しい。しかし、周辺住民との同意が得られるならば、既存施設に照明設備の設置を進めていきたい。

財政問題

Q 平成13年度以来になる財政調整基金の取り崩し。どのように考えているのか。

A 義務的経費の増加が否めないが、必要な行政サービスを行う上での財政調整機能の有効活用と考える。

Q 義務的経費の中でも突出して増えている扶助費。町長就任当時の予算は12億6

000万円、23年度は23億1500万円。約倍増している。町独自の扶助サービス費は3億円。あまりにも増やしすぎでないか。

A 一旦行うと止める事は難しい。今後どのように整理するのが課題である。

Q 平成16年度から数年間だけ法人町民税が突出して増加した。その余剰金を使って福祉政策を押し進めたのではないか。将来にわたる継続的政策を行う時はその経費は継続的財源を確保して行うべき*ペイアズユーゴの原則を重視しないで行ったのではないか。

A 確かに、予算を教育、子育て、福祉を重点的に配分してきた。指摘の点は議会と協議して見直していく必要がある。

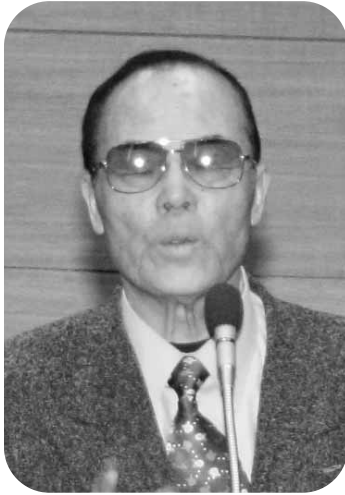
Q 余剰金を繰越金とせず毎年積み立て、財源が不足した時に取り崩すという形をなぜとらないのか。

A 従来の手法を踏襲してきた。

Q このような財政運営を行うから、余剰金で継続性の強い福祉政策を行ってきたのではないか。基金に積み立てることにより歳出圧力はかなり軽減される。今後は財政が余れば、積み立てる。足りなければ取り崩すという規律ある財政運用を行えば、健全な財政運営になる。

A 従来はそこまで検討していなかった。過去の手法を踏襲してきた。今後はその方向で財政運営を行う事が望ましいと思う。

※ペイアズユーゴの原則
予算の策定などで、新規の支出や減税などを行う際に財源確保を義務づけ、収支のバランスを取ること。



未来
松蔭日出美 議員

人権作文集を 読んでどう思う 先生と子どもたちの信頼関係がない

A

Q

先生と子どもたちの信頼関係がない

人権作文集を

読んでどう思う

Q 昭和30年に町村合併して、白川・片島地区に何ができたか。

A 片島地区は農業集落排水、片島コミュニティセンター。白川地区は校舎建てかえ、周辺の道路整備、駐在所と消防団の格納庫、現在、201号バイパス・東九州自動車道の整備を行っている。

Q 浄土院地域の生活道路を20年間放置しているが原因は。

A 現地をよく把握していない。現地を確認して検討したい。
Q 雇用促進住宅視察の結果、エレベーターはつけられるのか。
A 設置は不可能と判断した。

Q 定住化対策は何が一番か。
A 一般的に子育て支援、教育制度。

Q 白川地域の田・畑は大部分農業振興地域に編入されているので宅地に転用が難しいが検討できないのか。
A 片島から白川にかけて、考えられることがあれば考えていきたい。
Q 葛川屋敷線、途中から10数年間放棄されておるがどうするか。
A 今後、前向きに検討したい。

Q 等覚寺の分校跡地の計画は。
A 今年度、地質調査、来年度、水源の調査。
Q 青龍窟までは一部(約5



白川地域

00m)は整備を行っているが、残り部分(約1000m)は未整備である。計画は考えているか。

A 観光拠点の大事の一つ。道路整備について考えていきたい。

Q 農業集落排水事業計画は予定通りか。
A 今年度、白川南部地区の全体実施設計業務の委託を

出しており、一部黒添地区内において、管渠の築造工事、3ヶ所の発注を行っている。

Q 教育長は学校に向いて何をしたのか。
A 一昨年の9月から校門に立ち、朝子供たちに、声かけをした。

Q 教育長は命がけで学校をよくしてほしい。

Q

JR小波瀬西工大前駅 周辺整備の状況は

A

現在、検討委員会を立ち上げ、課題の整理を行っている



未来
榎谷 忠明 議員



JR小波瀬西工大前駅

Q 小波瀬病院の移転新築、小波瀬西工大のリニューアルに対しては、
A 交通の安全性の確保、駅

Q 昨年行なった、「しつちょうか蒔田」。その内容は、
A 五つのコースを実施。約

Q 小波瀬病院の移転新築、小波瀬西工大のリニューアルに対しては、
A 交通の安全性の確保、駅

Q 観光問題の取組はどうなっているのか。
A 平成20年より、観光、まちづくり推進を担う地域リーダーや観光まちづくりをプロデュースしていく人材をJT Bと協力して育成する。

Q JR小波瀬西工大前駅を利用する地域住民の思いを真剣に受けとめて頂きたい。
A 現在、蒔田駅周辺整備を行っている。蒔田駅に続いて小波瀬西工大前駅についても行なう方向で考えている。

Q JR小波瀬西工大前駅前の道路の危険性、駐車場の確保は解消しなくてはならない。
A JR小波瀬西工大前駅前の道路の危険性、駐車場の確保は解消しなくてはならない。

Q 西日本工業大学と小波瀬病院そしてJR小波瀬西工大前駅の三位一体で検討すべきだ。
A JR小波瀬西工大前駅前の道路の危険性、駐車場の確保は解消しなくてはならない。

Q 100名の参加者があった。
A 町長はこのツアーに参加したのか。

Q 参加していない。事前モニターには参加した。
A 高城山登山道の整備を、お願いしたい。本町の小学校、中学校合せて8校のうち5校の校歌に入っている町のシンボルでもある。



庁舎屋上から望む高城山

Q 観光名所の一つでもあり、町民の憩いの場でもあるの
A 観光名所の一つでもあり、町民の憩いの場でもあるの

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能

Q 6月には片側通行が可能
A 6月には片側通行が可能



ニューフォーラム
富安 正直 議員

A Q

町の基本構想策定に 町長のリーダーシップを

私が10年後も町長というわけではない

今後10年の大方針、
町長はどう関わったのか

Q 荻田町第4次総合計画基本構想の策定にあたって、町長はどう関わったのか。

A 庁内の若手職員を主とする検討委員会の前に1、2時間ほど私の思いを述べ、それをもとにした会議の結果を発表してもらうことで

職員の思いを聞き取り、それを一部取り込みながら、今後10年間の構想のテーマを作成した。

Q 町長の具体的な確固たる本町の将来像が必要な構想なのに、民間の方々が参加する審議会では町長の思いは何も伝えられていない。原案の作成にあたった若手

A 録はあるのか。に訓示したと言うが、会議

Q 町長のリーダーシップが感じられない。町長の意思による構想とは思えない。

A 私が10年後も町長を務めているという訳ではない。思いはあっても、私が決めてしまうのは危険であり、そのために審議会があるのだと思う。

Q 町長という役職の、政治という言葉の定義の問題だ。必要なのは政治の意思である。

町民温水プールの
指定管理者選定
Q 他市町村では、このよう

な指定管理者選定委員会は会議録も選定結果もすべて公開している。条例の解釈次第で公表できるはずだ。隠す意図があるのではないか。

A 情報公開条例によって処理している。

Q 以前町長は、議会において今までの地域貢献も評価に入れるべきとの答弁をしていた。今回の選定には反映したのか。

A 地域への貢献度も採点表に盛り込むよう申し入れた。私は選定委員ではなかったが、地元企業が選定されることを望んでいた。

Q 結果として、民業圧迫であることは間違いない。私は今回の温水プール事業すべてに不信感を持っている。



建設中の町民温水プール

場所の選定では、土地が狭いために施設が2階建となり、当然建設コストが余分にかかる。プールも6コースになった為に大きな大会も開けない。民間と協力すれば土地代も建設費も、もっと安くすむ方法はいくらかもあった。起債はしたものの金利は20年償還で約1億、土地代含めて約14億円の税金をわざわざ使いたかった。と思えない。

Q

健全な財政運営 について問う

A

21年度は、3億円弱の赤字



公明党 白石 学 議員

- Q** 剰余金について、地方自治法や地方財政法には総予算主義が原則になっているが。
- A** 現状では、前年度の繰り越しを次年度に歳入として予算を組んでいる。今後のあり方については見直した。
- Q** 法律にのっとって執行するのか。
- A** 今の時点では、法にのっとってやっていない。
- Q** 正規職員は、平成19年度は、296人、平成23年度は315人、19人増えている。何故か。
- A** 職員数は増えている。主な要因は、土地区画整理事業が始まったことによる人員の増だ。
- Q** 19人は、土地区画整理事業の職員か。
- A** 区画整理の職員数は10名だ。職員数の増加の主な要因は、これから大量退職に入る。その前に職員を採用してきた経緯で、今は増えている。今後は大量退職が始まるので、随時職員数が減る計画である。
- Q** 正規職員以外の再任用が、この5年間で2人から15人になっている。今後多ければ70人にもなる。活用も含めて、これからどうするのか。
- A** 財政改革の主な課題の一つだ。給与表の3級に位置づけられている人でそれに相当する仕事量があるのか。適正な報酬か、今後の人数について見直す組織づくりをしている。
- Q** いつまでに見直すのか。
- A** 再任用は、大きな財政問題になる。必ず来年度予算前、9月、10月をめどに結果を出していきたい。
- Q** 住民票などの自動交付機の導入により、経費削減や

- Q** コスト意識につながるのか。
- A** 住民課での発行は少なくなる。将来的には、職員を2名くらい減らせる。
- Q** 経常収支比率が高いが、健全な財政運営を行うためのビジョンを聞く。
- A** いろいろな施策を行うに当たり、健全な財政運営が一番の根底である。再任用の問題、繰り越し、財調のあり方等も含めて、財政全般にわたる事業の見直しをやっていく。

平成19～23年度 人件費等推移

(単位)人数:人、金額:円

年度	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	
正規職員	296	2,443,418,359 (553,750,707)	300	2,351,055,238 (531,553,023)	309	2,445,377,911 (604,245,121)	312	2,491,835,000 (605,509,000)	315	2,514,338,000 (613,057,000)	
正規職員以外	再任用短時間勤務職員	2	6,177,172	8	18,511,660	8	19,988,667	10	30,152,000	15	43,372,000
	特別職非常勤職員	34	48,536,400	34	52,353,025	36	53,534,150	33	58,100,000	33	55,175,000
	嘱託職員	42	92,599,381	51	83,794,350	45	103,896,277	53		52	
	一般職非常勤職員	122	97,873,900	124	96,358,806	116	74,587,030	118	295,957,000	118	302,661,000
	臨時職員	82	80,970,769	91	82,403,248	110	92,580,594	71		45	
小計	282	326,157,622	308	333,421,089	315	344,586,718	285	384,209,000	263	401,208,000	
合計	578	2,769,575,981	608	2,684,476,327	624	2,789,964,629	597	2,876,044,000	578	2,915,546,000	

※この表は、正規職員(特別職・教員を除く)、再任用短時間勤務職員、嘱託職員、臨時職員及び非常勤職員(月80時間以上勤務のもの)について集計したもの。

※「正規職員」について
(人数)H19～22:各年度4月1日の実数、H23:当初予算見込数 (金額)H19～21:決算ベース、H22～23:当初予算ベース
括弧の数値は共済費の内書き。特別職・再任用・教員を除く。

※「正規職員以外」について
(人数)H19～21:実績数、H22～23:予定(見込)数 (金額)H19～21:決算ベース、H22～23:当初予算ベース
金額に共済費は含まない。



安立会
山口 純治 議員



苅田山笠



松会

苅田らしい行政 の基本姿勢について

A 民意を反映した的確な行政

- Q 本町の独自性を持った、**地方分権**は。
- A 地方分権的な形で地域支援を行い、協働でまちづくりを進めていきたい。
- Q **町長は執行部のリーダーシップを発揮する時**。
- A 5年、10年先の本町を見据えた総合計画を立てる時の判断力。
- Q 町長として、**地域住民、役場職員、諸団体に対し、未来の構想**は。
- A 住民、職員、町長が一体となって、まちづくりを働きかけ機運を高めるように務める。
- Q **施政のスローガン「苅田らしさ」**について
- A 自然、文化、産業、人材も含めて、調和している町。
- Q **歴史、文化、自然、産業**等あるが情報発信、宣伝力が弱い。今後の計画は。
- A 観光振興計画を策定し、地域教育プロデューサー、苅田カレッジ等の、講座を通し人材育成に努める。
- Q **自治会等のインフラ整備の支援、今後の対策**は。
- A 地域、町民と連携し地域振興にますます力を入れ、支援するために基金みたいなものも考えていく。
- Q **伝統文化を継承する、地域の高齢化が進む中、今後の考え**は。
- A いろんな町内の催し、まちおこし、地域振興に支援していく。

Q

町民の切実な気持ち に応じてほしい

A

地域住民との話し合いをすすめる

日本共産党
梶原 弘子 議員

ていく。

Q 尾倉、与原線に信号機設置を願う。**A** 警察と協議したが、現時点では道路の形状や、交通量の関係から信号機設置はむずかしい。**Q** 交通量等の実態調査実施した答弁か。**A** 町、警察も調査したとは聞いていない。**Q** 空家などの火災が続いたがその対策は。**A** 昼夜間にパトロールを実施し、各自治会より空家情報の提供等を受け、再発防止に努めている。**Q** 外国債購入の件が新聞やテレビで報じられた。議会でも外国債購入の特別委員会が開かれた。内容を広報で町民に説明をする必要があるのでは。**A** 議会の基金運用調査特別委員会等で説明してきた。住民から提訴されているので、町として裁判の中できちんと説明していく。**通学路の整備を願う****Q** 馬場小の通学路はひどい所があり改善を願う。土日をのぞいて毎日児童は通る。**A** 各通学路を関係者は歩いて実態調査をすべきではないか、特に夕暮れ、雨天の時の調査を願う。**Q** 重大事故がおこらないと信号機が設置されないと云うことも問題である。**A** 指摘されたように、今後とりくみたい。**Q** 尾倉、与原線の危険な六差路は通学路にもなっている。保護者の切実な声が多く寄せられており、地域の警察で進展がないならば、直接県警に信号をつけるように申請すべきでは。**A** 行橋警察署経由とする。**同和行政終結にむけて****Q** 終結にむけてどのような施策をとっているのか。**A** 助成金を一割縮減した。

馬場小学校通学路

Q 毎年予算編成時期に、「命と暮らしを守る、だれもが安心して暮らせる」町づくりの申し入れ書を出しているがどのように検討しているのか。**A** 各担当課で、内容を検討している。**Q** 町民アンケートに取り組んでいる。特に小波瀬西工大前駅の改修や移転問題、県道の改善等、切実な要求、意見が多く寄せられている。小波瀬駅周辺整備はどうするの。**A** 庁内に小波瀬駅周辺整備計画検討委員会を立ち上げ、課題の整理を行っている。基本方針が固まれば、住民、大学、病院等と十分協議し



公明党
小山 信美 議員

聴覚障がい者の コミュニケーション支援拡大を 要約筆記は検討を重ねる

- Q 中途失聴者には要約筆記が必要。筆記者はいるのか。
- A 実績はない。県内の状況等を調査し検討する。
- Q 手話通訳派遣事業の維持拡大については。
- A 本町専任通訳者と京築手話派遣センターに依頼。ある程度の対応はできている。
- Q 専任通訳者の勤務状態は。
- A 非常勤特別職で月17日勤務。8時30分から17時15分まで。
- Q 長時間の場合、専任通訳者だけでは無理。対応は。
- A 原則一週間前に申請すれば対応可能だ。
- Q 豪雨災害での危機管理
- Q 防災マップの配布予定は。

- A 県の土砂災害情報を盛り込むため、5月末ごろに完成予定。
- Q 排水問題の検討会は。
- A 災害対策本部の会議は開催していない。新年度予算で地域防災計画の見直しを行い対応したい。
- Q 川の浚渫工事の検討は。
- A 状況等を見て、地元と相談する。
- Q 二崎地区の排水問題について。
- A 抜本的な排水対策が必要で多額な費用を要する。十分検討する。



初動付加マシーン

健康長寿社会を
目指して

Q 健康増進の目的で町民プールにトレーニングマシンを購入する。心拍数、血圧の上昇が少なく身体に優しい運動で、高齢者やリハビリ中の人など幅広い年齢の人に安心して利用できる初動付加マシンの導入は。

A 効果、費用等について詳細を検討していく。



米粉パン給食

アレルギーと米粉の
利用

- Q 残食の調査、研究の取り組みは。
- A していない。今後検討。
- Q 米粉パンの使用回数は。
- A 年3回。
- Q 米粉パンは普通のパンに比べて20円ぐらい高い。町が助成金を出す考えは。
- A 子どもの健康を守ることは大事だ。検討してみたい。

Q

区画整理・住民の不安解消の対応は

A

十分協議をしながら進める



ニューフォーラム
常廣 直行 議員

与原区画整理事業の円滑な推進

- Q** 生活環境の変化や事業完了後までの生活再建設を示すべきでは。
- A** 工事計画や家屋移転計画を作成する中で、負担がないうように考え、説明していく。
- Q** 仮移転先に高齢・介護・障害者の生活環境を整えることが出来るのか。パンジープラン21に「高齢者向け住宅を促進する」とある。この事業の前倒しで、負担を軽減することはできないか。
- A** 町営住宅建て替えは予定地や計画の詳細が出来てない。私たちも可能な限り手を尽くしてお手伝いする。
- Q** 全体計画において合意形

成を完了する時期は。また、現在の進捗状況は。

- A** 仮換地指定通知を23年度中に終了予定。要望内容は再度協議を進める。

- Q** 生活は、どのように変化するか。何を準備しなくてはならないか。行政はどこまで支援してくれるのかなど不安山積。ワンストップサービス体制をつくる必要があるのでは。

- A** 現在担当課である、区画整理課が窓口となって相談体制の充実を検討していきたい。ワンストップサービスは検討する。

危機管理耐震対策

- Q** 今回のニュージラランド地震の教訓は活かされたのか。
- A** 広域災害ネットワーク締結。応援体制を整備している。
- Q** 本町庁舎は耐震対策が実施されていない。暫定措置を急ぎ、庁舎移転も視野に入れた恒久対策が必要では。
- A** 庁舎の延命の為、外壁、

防水工事等行っている。耐震、防災の建物の在り方を防災対策を中心に考える。

- Q** 13年ぶりの防災計画見直しに1,3334万円の予算がついた。その狙いは。

- A** 短期・中期・長期の計画が災害に強いまちづくりが必要だと考え構築したい。

- Q** 前議会で「消防組織と装備の充実を図っていく」との町長は答弁。具体的には。

- A** 消防団の消防車は随時入れ替えを行って、装備も新しいものに替えていく。

- Q** 震災で格納庫が潰れて消防車が出せないという心配があるが。

- A** 今後、全体的な見直しの中で考えたい。

小波瀬西工大前駅とその周辺再開発

- Q** 小波瀬病院の建替えや西工大リニューアルなど駅周辺が変わろうとしている。駅改修移転は住民の強い要望。これらの事業との連携で大きな相乗効果が期待で

きる。さらに庁舎機能や福祉施設、商店・飲食店なども入居する駅ビル構想を同時に推進すれば、新たなまちづくりのチャンスとなるのでは。

- A** 駅周辺整備計画検討委員会を立上げ課題整理を行っている。方針が決まれば地域住民、西工大、小波瀬病院とも協議を行う。地域活性化の観点からも駅と一体となった周辺整備を検討する必要があると思う。



JR小波瀬西工大前駅



無党派
伊塚 弘 議員

A Q

第3次総合計画を総括し、第4次総合計画に どう反映させているか

基本的に継承し、社会情勢の変化を踏まえ策定

基本構想

(まちづくりの指針)
の相違点について

- Q** 第3次計画にくらべ、新構想は夢が無いと感じる。北九州空港を生かしたまちづくりの文言が消えている。
- A** 前の計画を踏まえている。空港に関するまちづくりは、個別政策にしている。
- Q** 前の計画での住民満足度調査が生かされていない。
- A** 今回、アンケート調査を2回行い、前計画の調査結果を並列し審議した。
- Q** 行政改革の視点で第4次総合計画の課題を考える
- Q** 「未来を拓くまちづくり」

- Q** 前は、文化財の保護、継承に人材確保が欠かせないが。
- A** 思った以上の文化財があり検討する。
- Q** 「活力ある産業のまちづくり」では、新たな企業用地は確保できるのか。又、食の祭典など商業活性化の方策はあるのか。
- A** 空港周辺、新松山、与原地区などの開発整備は可能。食の問題は不足していると認識、井場川埋立地を拠点に、駅や商店街を結びつきたい。
- Q** 「安心・安全に暮らせるまちづくり」では、高齢者福祉の推進に当たり、地域組織の退潮傾向にどう歯止めをかけるのか。
- A** 一部地域での話を耳にしているが、地域の中で一緒に活動していただくことが大事。地域で暮らしやすい体制をとっていただき、助成できることが望ましい。
- Q** 本町の一人当りの医療費が、県下で非常に高い。その分析と対策は。
- A** 分析はしていない。健康増進対策に、町民が参加しやすい環境づくりを考えている。
- Q** 「快適で潤いのあるまちづくり」では、都市計画の見直しが必要と考えるが。
- A** 簡単に都市計画を動かさないしくみであり困っている。
- Q** 自治会などの要望解決に早く取りくむ方法を考えないのか。
- A** 公平、公正、健全な工事の観点に立っておりスピードに欠けることは認識。検討課題である。
- Q** 「協働と自立のまちづくり」では、持続可能な社会にするには何が必要か。
- A** 安定した財政運営と思う。

- Q** 町の職員数の削減目標はあるのか。
- A** 現在315名を、平成29年度で292名に削減する計画。
- Q** 職員研修のあり方を再検討しないか。
- A** 近隣での職員間交流なども考えてみたい。

進行管理と議会との関係

- Q** 第4次総合計画の進行管理に議会が関われないか。
- A** 新たに策定する前期基本計画で、成果指標を設置して、計画の進みぐあいを議会や町民に定期的に公開するしくみを取り入れる。



はばたけ!! かんだっ子

集まれ!ちびっこ剣士!

苅田剣愛会は現在、幼年から中学生まで18人が剣の修行に励んでいます。
剣道を通じて、体力づくりはもとより、礼儀作法や強い精神力、さらに思いやりの心を育てようと稽古に励んでいます。



年2回の昇級、昇段審査や試合も10回前後あり、着実に実績を積み上げています。

稽古は、火曜日・金曜日が17時30分から20時まで、土曜日は16時から19時まで、いずれも三菱マテリアル（武道場）で行っています。

「やってみたい方」「興味のある方」は是非一度、見学に来てみてはいかがでしょうか?

お問い合わせ:090-1190-3489 会長 長 聖子



初めまして。「@J's Activity Dance school」です。



北公民館にて、ストリートダンスを中心にレッスンをしています。

楽しむ!!事を大事に、子供達の表現力や感受性を伸ばしていけたらと考えています。昨年はコンテストやイベントなど、幅広く活動してきました。これからも生徒一同、苅田町を盛り上げていきたいと思っておりますので、応援よろしくお願いします。「@J's Activity Dance school!!」

音に合わせて、いっしょにリズムを感じませんか?毎週木曜日、金曜日、北公民館にてLessonを行っています。

お問い合わせ:090-5370-3942(ミヤザキまで)



委員長 井上直修
副委員長 常廣
委員 小嶋山 信美
委員 榎原 洋征
委員 友谷 明
委員 伊田 敬而
委員 山口 純治

議会広報特別委員会

今後、町内のまつり、イベントも自粛・縮小されると思うが、今こそ頑張るって経済を活性化させ、東北地方の復興のため、長期にわたり支援していかなければいけないと思う。

巻頭写真の朝陽に、広報委員会一同の想いを込めて「復興東北」「支援頑張ろう苅田町」を義援金として送った。

今回、町内のまつり、イベントも自粛・縮小されると思うが、今こそ頑張るって経済を活性化させ、東北地方の復興のため、長期にわたり支援していかなければいけないと思う。

今年、長い冬が続き、三月下旬まで平尾台には美しい雪化粧が見られ、四月に入りやっと桜が開花するという異常気象の中、三月議会は本町の一般会計予算約143億円で決定。

今年、長い冬が続き、三月下旬まで平尾台には美しい雪化粧が見られ、四月に入りやっと桜が開花するという異常気象の中、三月議会は本町の一般会計予算約143億円で決定。

あとがき

東日本大震災の遺族、被災者の方々のご冥福、お見舞い申し上げます。